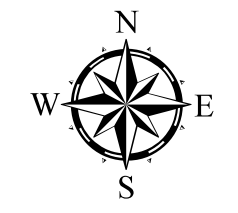


計算条件：最高水面（零位）  
 隆起量：平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)  
 Zo：0.93m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)



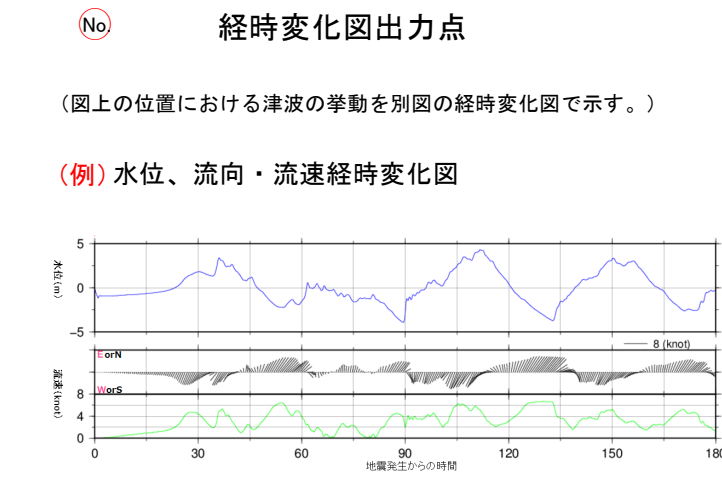
### 凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇  
 0.5~最大1.9m  
 0.5未満

経時変化図出力点  
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

(例) 水位・流向・流速経時変化図



進入時最大流 [knot]

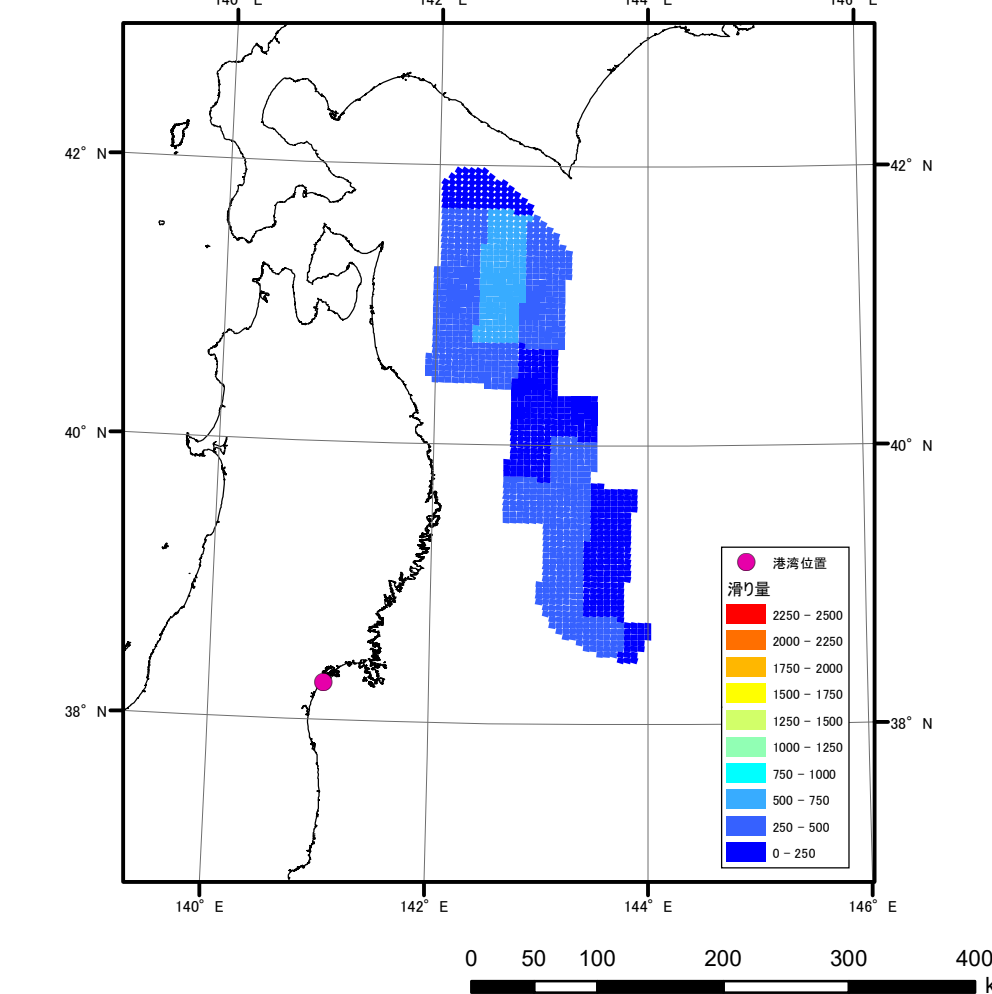
3 knot  
 2 knot  
 1 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

### 断層モデル



三陸沖北部地震  
 モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保 第1374号 平成29年3月10日)